|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）地震発生時の津波対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 地震が発生した場合，すぐに津波を考える。 | 1) | 地震が発生したときは，最初はどこが震源かが分からないので，すぐに津波のことを考えなければならない。 | ○ | 教・行 | ・[地震　その時](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)[10のポイント](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　(東京消防庁) |
| 2) | 津波から避難する時は，遠くではなく，高いところに避難する。例えば，海の近くにいる場合は，近くの高台や建物等が流される恐れがあるため，高くて頑丈な建物に避難する。 | ○ | 教・行 |
| ② | 海岸で大きな揺れを感じたときや，弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは，津波の襲来を予測して，直ちに海岸から避難する。 | 1) | 津波が地震直後に襲ってくることもあるので，いち早く避難行動をとる。 | ○ | 教・行 |
|  |
| **（２）津波に関する知識** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 津波と波浪の違いから，津波のエネルギーの大きさと被害が大きくなることを知る。 | 3) | 津波は，30cmの高さでも被害が生じ，幼児や児童は流されることがある。 | ○ | 教・行 | ・[津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html)(気象庁) |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例